



2026年5月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F R S
(登記社名 株式会社フォーバル・リアルストレート)
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 芳 賀 直 樹
(コード 9 4 2 3 東証スタンダード)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 早 川 慎 一 郎
(TEL 03-6826-1502)

通期連結業績予想と実績値との差異及び 通期業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績につきまして、通期連結業績予想との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、個別業績につきましては、前事業年度の実績値と比較して差額が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異について（2025年4月1日～2026年3月31日）

・連結

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,000	180	180	110	4円53銭
当期実績 (B)	4,563	139	141	169	6円98銭
増減額 (B-A)	△436	△40	△38	59	—
増減率 (%)	△8.7	△22.7	△21.2	53.8	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	—	—	—	—	—円—銭

2. 当期実績値（2025年4月1日～2026年3月31日）と前期実績値（2024年4月1日～2025年3月31日）との差異について

・個別

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,139	126	126	86	3円57銭
当期実績 (B)	3,612	153	173	107	4円45銭
増減額 (B-A)	473	27	46	21	—
増減率 (%)	15.1	21.8	36.9	25.0	—

3. 差異の理由

当連結会計年度において、当社グループは顧客企業の移転時やリニューアル等のオフィス環境整備における、不動産物件の仲介から内装工事、各種インフラの整備やオフィス機器・什器の手配までをトータルにサポートするソリューション事業を中心に事業活動を行ってまいりました。不動産仲介につきま

しては、顧客単価が前年度から横ばいだったものの、成約件数が前年度比で約11%増加したことから、売上高、利益とも目標値を上回りました。内装工事やOA機器・什器の販売につきましては、成約件数が前年度比で約22%の増加となったものの、顧客単価が前年度から横ばいだったこと、及び子会社の株式会社第一工芸社における内装工事やOA機器・什器の販売が目標を大きく下回ったことから、売上高、利益とも目標値を大きく下回りました。また、2026年2月25日付け「投資有価証券売却に伴う特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、子会社の株式会社第一工芸社が保有する投資有価証券の売却に伴う投資有価証券売却益75百万円を計上いたしました。

その結果、売上高、営業利益、経常利益は予想数値を下回ったものの、親会社株主に帰属する当期純利益は、予想数値を大きく上回ることとなりました。

(注) 2026年3月期の業績の詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期 決算短信」をご参照ください。

以上